

マンスリー・サンズ・トーク(72)

2014.11.1

木村 譚

菊香る明治神宮に参拝した



今年は、文化の日を前に、明治神宮に参拝し、菊花展を見た。カラフルな作品もある中で神宮の静謐なたたずまいに合うような清楚な展示が気に入った。東京都立農業高校の出品であった。

この夏、神宮一帯は蚊が媒介するデング熱が危険だったのだが、その季節も知らぬ間に過ぎていた。(10月末で特別警戒が解除になった。)

明治神宮は、明治天皇が祀られている。300年続いた幕藩体制、鎖国状態の国から、近代国家日本へ転換する道を突き進んだ天皇の事跡は今でも計り知れぬ記憶として残されている。そして、今も元旦の初詣で客が最も多く、庶民にも愛されているのだ。



表参道に入って中ほどの大鳥居は、木造の鳥居としては我が国最大、原木は台湾産の樹齢1500年のひのき。昭和50年、建替竣功とある。さらに進めば、広い間口の社殿正面に来る。左右に楠の巨樹が

広い前庭を圧倒している。見ると、左側の楠は2本になっていて、注連縄が巡らされ、夫婦楠のご神木を通して、ご祭神のお恵みをお受けくださいとある。

七五三の振袖姿のお嬢ちゃんは何組か、神楽殿で祈願を済ませて、一家とともにでてきていた。外人さんたちが、カメラで撮らせてもらっていた。



広い園内には、全国から寄進された様々な樹木が鬱蒼と成長しており、都会の中で^{かむ}神さびた威厳のある森になっている。代々木という地名、このあたりは昔から木の生い茂る森だった名残でもある。

全国から奉獻された清酒菰樽

参道には全国の酒造家から奉獻された菰樽が並んでいる。横幅はこれの倍近くもあって、見る人を圧倒している。知った銘柄もあり、知らないのもあり、私は、しばしこの樽の列に見入ったのだった。



広いご神域の周辺

JR山手線、代々木から原宿にかけての西側にある明治神宮の周囲には、それと目を引く様々がある。神宮外苑には、国立競技場や神宮球場、ラグビー場などいろいろなスポーツ施設があり、原宿、表参道あたりは若向きのファッションタウン、そしてその東には東宮御所や迎賓館もあるのだった。南側にはNHKがあり、渋谷へと続いている。